



さくら通信

北九州市立桜丘小学校

校長 二村 眞介

通知表「あゆみ」の見方について

先週は、台風の接近や記録的な豪雨で臨時休校の措置をとりました。梅雨明けを迎え、暑さ対策に気を配らないといけない時期になりました。さて、来週の17日・18日は、期末個人懇談会が予定されています。子どもたちの成長等について話し合い、学校と家庭とが連携しながら指導する方向性を確認できればと思っています。

また、20日(金)の終業式には、通知表「あゆみ」をお渡しします。本年度は、道徳科や外国語活動(3~6年)の先行実施にともない「学習の連絡」に一部変更がありますが、様式や評価の仕方については変わっていません。一人一人のよさや可能性を伸ばし、確かな学力を付けていくため観点別の評価を重視するとともに、成長や努力を認め励ます視点で、学校生活や学習の様子等を連絡しています。

「生活の様子」

10の項目について、他の子どもとの比較ではなく、その子自身の中で特に「よい」ところとして認められる内容に○を付けています。○は、どの子にも1~2個程度付いています。その項目は、今学期よさとして目立った内容です。今後、より一層伸ばしていけるよう励ましてください。



「生活や特別活動の連絡」

生活と特別活動の連絡欄を合わせて記述しています。学級での話し合い活動や係・当番活動、クラブ活動や代表委員会(4~6年)、委員会活動(5・6年)、体育大会や全校集会といった学校行事での様子や、給食時間や清掃時間、休み時間等での様子、友達との関わりなどについてお知らせする欄です。内容が、学校生活全般にわたるので、その学期で特によくがんばったことや努力してほしいことなどについて記述しています。

「学習の連絡」 ※本年度、一部変更あり(下線部)

各教科や道徳の学習について、よくがんばったことやさらに努力してほしいことを記述しています。総合的な学習の時間(3~6年)や道徳科(全学年)、外国語活動(3~6年)についても、合わせて記述しています。(記述は、年間を通して1回)連絡欄に記述されている課題は、次の学期のめあてにし、改善していけるようにご家庭でも話し合ってください。

「各教科における観点別の学習の様子」

各教科の内容の定着の様子が分かるよう、観点別の目標に準拠した評価を行っています。これも、他の子どもとの比較ではなく、各教科の学習ごとに設けられている目標に照らして、その子の学習状況を評価するものです。例えば、6年算数科で「分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けている。」(技能)という目標が今学期おおむね達成できていれば「よい」です。達成できていなければ「がんばろう」になります。したがって、「よい」をめざして学習に励むことが大切であり、「がんばろう」の内容は次の学期に目標達成を目指してほしいと思います。



なお、「たいへんよい」は、目標達成の規準を大きく超えているものです。例えば、「跳び箱で4段を跳べること」を規準とすると、フォームが少し乱れても4段跳べたら「よい」です。しかし、その中で、5段以上の高さをきれいなフォームでスムーズに跳べた場合など、特別に優れた内容が多く認められれば、それが「たいへんよい」となります。ですから、「たいへんよい」は少ないとお考えください。

たんぽぽ学級の「あゆみ」について

一人一人の状況に応じて評価する「あゆみ」をお渡しします。学習や生活で交流をしているお子さんについては、交流学級での様子についても各学級の担任から連絡を受け、反映するようにしています。

1年生1学期の「あゆみ」について

1学期のみ、学校での様子を2段階で評価しています。学校生活に適應している項目を「よい」、努力してほしい項目を「がんばろう」で示しています。また、連絡欄も1箇所だけです。学習に関すること、学校生活全般にわたってがんばったことや努力してほしいことなどを記述しています。2学期からは、2年生以上と同様の「あゆみ」となります。

渡された「あゆみ」は
学期ごとに「あゆみ」を封筒に入れてお渡しします。封筒の確認欄に押印の上、新学期になりましたら学校に持たせてください。封筒は、年間を通して使用します。